



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日
福

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所
 コード番号 5953 URL <http://www.showa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本駿一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 一木和弘 (TEL) 092-651-2933
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,671	7.4	△269	—	△263	—	226	—
25年3月期第2四半期	4,351	△9.9	△344	—	△379	—	△394	—

注) 包括利益 26年3月期第2四半期 233百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △563百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	26.83	—
25年3月期第2四半期	△46.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,335	3,519	24.6
25年3月期	13,970	3,311	23.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,519百万円 25年3月期 3,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	12.6	100	—	100	—	420	749.9	49.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	8,970,000株	25年3月期	8,970,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	537,350株	25年3月期	536,900株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	8,432,909株	25年3月期2Q	8,440,296株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権の経済政策「アベノミクス」効果などで円高の是正や株価の上昇が進み、輸出関連企業を中心に復調の兆しがみられ、また東京五輪の誘致成功などで景気回復に期待感を与えるものの、短期的には円安に伴う原材料価格の高騰や中国などアジア経済の減速、来春の消費税増税など懸念材料も多く、依然として予断を許さない状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「リカバリー130」の最終年度として、重点課題である「差別化した新製品・サービスの拡販」に努めるとともに、固定経費の徹底した削減と製造工程改善による限界利益の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、46億7千1百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

損益面につきましては、業績の進捗はほぼ計画どおり、営業損失は2億6千9百万円(前年同期は営業損失3億4千4百万円)、経常損失は2億6千3百万円(前年同期は経常損失3億7千9百万円)となりました。また、特別利益に固定資産売却益9億3千4百万円、特別損失に事業構造改善費用3億2千6百万円を計上した結果、四半期純利益は2億2千6百万円(前年同期は四半期純損失3億9千4百万円)の黒字となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

・機器装置事業

機器装置事業につきましては、サーモデバイス機器は受注案件が計画以上に出荷・売上計上できたことにより好調に推移しましたが、熱源機器は電力需給逼迫等の影響により特に「業務用エコキュート」の売上が伸び悩んだことから低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は26億6千3百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、鋳造品はやや低調に推移しましたが、景観製品は前年度の受注案件が予定通り順調に出荷・売上計上できたことにより好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は10億9百万円(前年同期比35.3%増)となりました。

・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、設備工事はやや低調に推移しましたが、有料サービス及びリニューアル工事の売上が営業強化により順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は9億9千8百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億6千4百万円増加し143億3千5百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が8億8百万円、有価証券が5億円増加した一方、受取手形及び売掛金が8億5千1百万円、有形固定資産が4億7千2百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ1億5千6百万円増加し108億1千5百万円となりました。主な要因は、流動負債「その他」が2億9千1百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が1億3千万円減少したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ2億8百万円増加し35億1千9百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が2億円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ8億2千4百万円増加し36億3千6百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は5億9千6百万円(前年同期は3億2千万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億4千4百万円、売上債権の減少額8億5千1百万円による増加と仕入債務の減少額1億3千万円、たな卸資産の増加額3千3百万円による減少であります。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果獲得した資金は2億7千9百万円(前年同期は3億7千8百万円の支出)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の売却による収入12億7千3百万円による増加と、投資有価証券の取得による支出4億4百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出7千2百万円、有価証券の純増減額5億円による減少であります。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は5千1百万円(前年同期は1億9千2百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額2千5百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、サーモデバイス機器の売上増が見込まれるため、平成25年5月13日に公表しておりました連結売上高11,000百万円を11,400百万円に変更しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,831	3,640
受取手形及び売掛金	3,562	2,710
有価証券	—	500
商品及び製品	276	370
仕掛品	747	705
原材料	355	336
繰延税金資産	44	—
その他	195	170
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	8,012	8,430
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,611	1,584
その他(純額)	1,331	886
有形固定資産合計	2,943	2,471
無形固定資産		
	49	44
投資その他の資産		
投資有価証券	2,394	2,720
その他	598	695
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	2,964	3,389
固定資産合計	5,958	5,904
資産合計	13,970	14,335
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,257	2,126
短期借入金	4,420	4,620
未払法人税等	26	82
その他	755	1,046
流動負債合計	7,459	7,875
固定負債		
長期借入金	910	700
退職給付引当金	1,643	1,629
繰延税金負債	34	4
その他	611	605
固定負債合計	3,199	2,939
負債合計	10,659	10,815

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	398	599
自己株式	△87	△87
株主資本合計	3,177	3,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121	81
為替換算調整勘定	12	59
その他の包括利益累計額合計	133	141
純資産合計	3,311	3,519
負債純資産合計	13,970	14,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
売上高	4,351	4,671
売上原価	3,463	3,672
売上総利益	887	998
販売費及び一般管理費	1,231	1,267
営業損失 (△)	△344	△269
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	21	28
持分法による投資利益	3	11
その他	7	8
営業外収益合計	35	52
営業外費用		
支払利息	45	40
その他	24	6
営業外費用合計	69	46
経常損失 (△)	△379	△263
特別利益		
固定資産売却益	—	934
特別利益合計	—	934
特別損失		
事業構造改善費用	—	326
特別損失合計	—	326
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△379	344
法人税、住民税及び事業税	15	74
法人税等調整額	—	44
法人税等合計	15	118
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△394	226
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△394	226

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△394	226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172	△40
持分法適用会社に対する持分相当額	3	47
その他の包括利益合計	△168	7
四半期包括利益	△563	233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△563	233
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△379	344
減価償却費	87	81
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23	△13
受取利息及び受取配当金	△24	△32
支払利息	45	40
持分法による投資損益(△は益)	△3	△11
減損損失	—	230
固定資産売却損益(△は益)	—	△934
売上債権の増減額(△は増加)	1,429	851
たな卸資産の増減額(△は増加)	△313	△33
仕入債務の増減額(△は減少)	△403	△130
その他の資産・負債の増減額	△88	217
その他	0	△2
小計	364	609
利息及び配当金の受取額	24	42
利息の支払額	△44	△40
法人税等の支払額	△29	△18
法人税等の還付額	5	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	320	596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△44
定期預金の払戻による収入	—	20
有価証券の純増減額(△は増加)	—	△500
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	1,273
有形及び無形固定資産の取得による支出	△46	△72
投資有価証券の取得による支出	△300	△404
その他	△32	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378	279
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△151	—
長期借入れによる収入	400	100
長期借入金の返済による支出	△411	△110
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△25	△25
その他	△3	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192	△51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△250	824
現金及び現金同等物の期首残高	3,042	2,811
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,791	3,636

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,717	746	887	4,351
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	5	33	44
計	2,723	751	920	4,395
セグメント利益又は損失(△)	△175	△176	7	△344

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△344
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△344

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,663	1,009	998	4,671
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	5	31	42
計	2,668	1,015	1,029	4,713
セグメント利益又は損失(△)	△177	△109	17	△269

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△269
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△269

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「素形材加工事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期累計期間においては230百万円であります。